

平成29年12月14日

## 地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+) 「かがわ ICT まちづくりアイデアソン 2017」の開催について

地方創生が叫ばれる中、その中心となる「ヒト」が地方に集積するような仕組みづくりをすることが益々重要になっており、地方大学はその拠点としての役割が求められています。地場の産業や地方に拠点を置く企業も、既存の領域にとらわれない新たな地域ビジネスの発見や価値の創出を求められています。

そこで、大学や企業を中心にいて将来の地域を担っていく若者世代が、地域の魅力を自分達で再認識するとともに ICT を用い、「地域、ICT、若者」が融合し共創することで、これまでになかった新たな発想やイノベーションを生み、地方創生・かがわの将来を考える場として「かがわまちづくりアイデアソン 2017」を開催します。**今年度のテーマは『観光』です。**

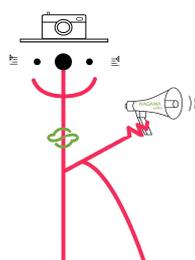
※アイデアソンとは、Idea(アイデア)と Marathon(マラソン)をかけた造語です。

多様性のあるメンバーが集まり、ある特定のテーマについて、対話やワークショップを通じて自由にアイデアを出し合い、新たなアイデア創出やアクションプラン、ビジネスモデルの構築などを短期間で行う手法やイベントを指します。近年は、地方創生のためにこの手法が使われています。

- 日時 平成29年12月16日(土) 9:30~17:30 (入場開始9:00~)
- 場所 情報通信交流館 e-とぴあ・かがわ  
(高松市サンポート2番1号 高松シンボルタワー タワー棟4・5階)
- 対象 県内の学生(高校生以上)  
地域企業の若手、地方自治体職員、大学職員(35歳以下の方) 計50名程度
- 参加費 無料(要事前予約)
- タイムテーブル
 

9:30~9:50	オリエンテーション
9:50~10:35	キーノートスピーチ 香川大学経済学部教授 原 直行 大同大学情報学部情報デザイン学科教授 井藤 隆志氏 株式会社百十四銀行地域創生部調査役 香西 竜太氏
10:35~10:50	実行委員会による事前活動報告
10:50~11:30	アイデアソン1
11:30~12:30	休憩
12:30~16:30	アイデアソン2
16:30~17:10	発表(チームごとにアイデアを発表)
17:10~17:30	審査・発表・表彰・クロージング
18:00~	交流会 参加希望者のみ(参加費あり)

※上記内容は変更になる場合もありますので、ご了承ください。



問い合わせ先  
かがわICTまちづくりアイデアソン実行委員会事務局  
(香川大学地域連携戦略室担当)  
TEL:087-832-1359 FAX:087-832-1357  
Mail: ideathon@remmy.eng.kagawa-u.ac.jp  
Facebook:「かがわ ICT まちづくりアイデアソン」で検索

新しいイノベーションは若者から生まれる

アイデアソンとは  
特定のテーマについてグループ単位  
でアイデアを出し合い、それをまとめ  
ていく形式のイベント。アイデア  
(Idea)とマラソン(Marathon)を合  
わせた造語で、2000年代に米国で使  
われ始めたと言われている。

かがわ

ICTまちづくり

アイデアソン

2017

テーマ  
観光

～若者の力で今までにない地方創生～

2017年12月16日(土) 9:30～17:30

場所: 情報通信交流館 e-とぴあ・かがわ

〒760-0019 香川県高松市サンポート2番1号 高松シンボルタワー タワー棟4・5階

参加  
無料

参加  
対象者

香川県内の学生(高校生以上) **24名**

地域企業の若手、地方自治体職員、大学職員(35歳以下) **24名**

日本一狭い県、香川県ですが、うどん以外にもいろんな魅力が隠れています。そんな魅力を自分たちで再認識するとともに、ICTを用いてかがわの将来を考えるアイデアソン「かがわICTまちづくりアイデアソン2017」を開催します。地域、ICT、若者が融合し新たな化学反応を起こすことで、これまで生まれなかった新しい発想やイノベーションが生まれることを期待しています。

学生にとっては、普段話すことができない、地元企業や自治体の職員の方とお話をする絶好のチャンスです。また地元企業同士の連携や地元企業と地方自治体の連携の場としてもご活用ください。

# かがわICTまちづくり アイデアソン2017

2017年12月16日(土)  
9:30~17:30

参加  
無料

## PROGRAM

### プログラム

当日の運営はかがわICTまちづくりアイデアソン実行委員会がおこないます

- 9:30 > 9:50 オリエンテーション
- 9:50 > 10:35 ゲストによるキーノートスピーチ
- 10:35 > 10:50 実行委員会による事前活動報告
- 10:50 > 11:30 アイデアソン1
- 11:30 > 12:30 お昼休憩(昼食は各自でとっていただきます)
- 12:30 > 16:30 アイデアソン2
- 16:30 > 17:10 発表(チームごとにアイデアを発表していただきます)
- 17:10 > 17:30 審査・発表・表彰・クロージング
- 18:00 > 交流会(参加費別 4,000円、希望者のみの参加となります)

※内容は変更になる場合もありますので、ご了承ください

## GUESTS

### ゲスト(キーノートスピーカー)



#### 原 直行 Naoyuki Hara

香川大学経済学部教授  
1997年 東京大学大学院農学生命科学研究科博士課程修了。博士(農学)。  
1997年 東京大学アジア生物資源環境研究センター 研究員。  
1998年 香川大学経済学部 講師。(現、教授)  
専門は地域活性化論、エコツーリズム論、グリーンツーリズム論。  
2011年に大学を退職し、四万十川の自然体験型宿泊施設にてカヌーガイドとして働きながら研究に従事。  
研究者もフィールドでアクションを起こしながら研究する「アクション・リサーチ」を行っている。



#### 井藤 隆志 Takashi Ifuji

プロダクトデザイナー/大同大学情報学部情報デザイン学科教授。  
1969年岐阜県生まれ。  
筑波大学卒業後、富士通(株)総合デザイン研究所にて、情報機器関連のデザイン開発に携わる。退社後、ミラノに渡りフリーランスデザイナーとしてイタリアの企業、職人、デザイナーとコラボレーションを行う。  
帰国後、東海地方を拠点に陶磁器、家具などの日用品から、ヒューマノイドロボット、次世代パーソナルモビリティまで、中小企業のイノベティブなプロダクト開発に携わる。



#### 香西 竜太 Ryuta Kozai

百十四銀行 地域創生部 地域活性化推進グループ 調査役  
1976年香川県生まれ。  
1998年 百十四銀行入行。以降、高松市内・大阪市内・名古屋市内・岡山市内の計6店舗に勤務し、法人顧客を中心に担当。  
2015年 四国経済産業局 出向。地域経済分析システム(RESAS)の普及活用支援調査員として活動。  
2017年4月から現職。四国4地銀の四国アライアンスを中心に担当しつつ、地域活性化に繋がる各種施策を企画している。

### お申込み方法 必切 12/9(土)

E-mailでご連絡いただくか、右記Facebookにアクセスしてください。

- 1 参加者氏名(フリガナ)
- 2 性別
- 3 生年月日(西暦)
- 4 会社名(大学名)
- 5 日中の連絡先(電話番号)
- 6 連絡可能なEメールアドレス
- 7 交流会への参加可否

送信先メールアドレス: ideathon@remmy.eng.kagawa-u.ac.jp

※応募者多数の場合は、抽選になります。

### お問合せ

かがわICTまちづくりアイデアソン実行委員会事務局  
香川大学地域連携戦略室 担当 川池・杉村

電話: 087-832-1359

メール: ideathon@remmy.eng.kagawa-u.ac.jp

Facebook: 「かがわICTまちづくりアイデアソン」で検索